



令和7年 1月号 園だより

江戸川区立船堀幼稚園

園長 小澤明子

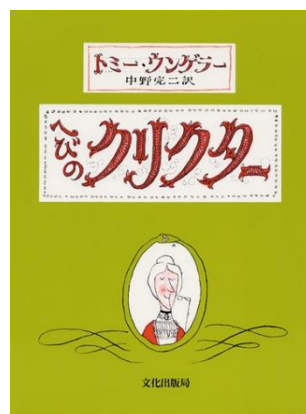
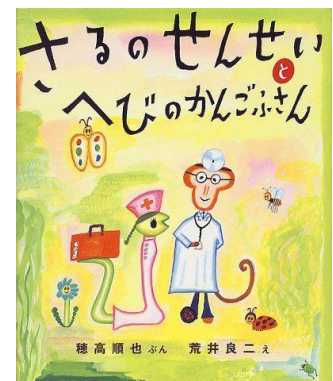
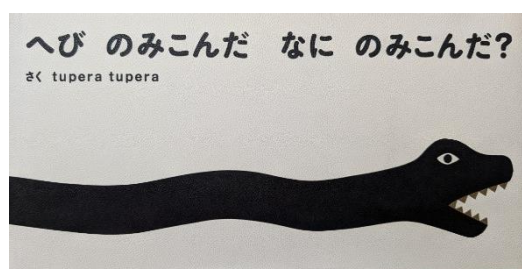
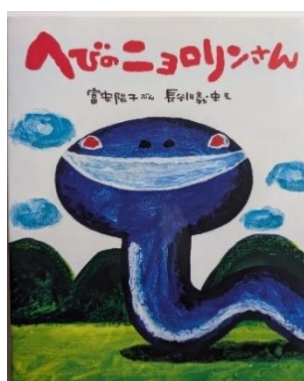
—教育目標—
元気な子ども
明るい子ども
考える子ども
思いやりのある子ども

～一人一人に寄り添う～

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は乙巳（きのとみ）です。乙はしなやかに伸びる草木を表し、巳は再生と変化の象徴で、乙巳は努力を重ね物事を安定させていく縁起のよさを表しています。乙巳にあやかり、今年も子どもたちはしなやかに学び大きく成長することでしょう。保護者や地域の皆様には、昨年引き続き教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

私が昨年見ていた看護師が主人公のテレビドラマのテーマの一つが「医者は病気を見て病気を治す、ナースは人を見て人を治す」でした。白衣の天使と言われたフローレンス・ナイチンゲールの言葉だそうです。クリミア戦争の際に医療現場で次々と改革を進め看護の基礎を作りました。小学生向けの伝記を読み返してみると、戦争で傷ついた兵士の悩みや苦しみに寄り添うことが「人を見て人を治す」と言うことでした。テレビドラマでは、ナースが忙しい中でも患者や家族の様子を丁寧に見守り、どんなケアが必要かを見つけ出して治療をサポートする姿が描かれていました。

この「人を見て人を治す」は、人を育てる幼児教育に通じると感じました。子どもの心身の成長は一人一人違います。何を感じているのか、どんな気持ちなのか、何をしたいのかなど丁寧に見てかかわることが大事です。本園では一人一人の子どもの育ちのために、担任をはじめとしてみんなで支え援助しています。指導のポイントや成長の嬉しい姿なども共有しています。今年も「共育（ともいく）」を進め、保護者や地域の皆様と共に子どもたち一人一人に寄り添いながら、笑顔あふれる幼児教育を進めてまいります。



ユーモラスなへびたちが生き生きと描かれた絵本